

地域再生は足元から

福島県町村議会議員の研修会が10月19日、郡山市ビッグパレットふくしまで開催されました。

研修会では、東京大学名誉教授・冒険家の月尾嘉男氏が「足元の宝物の発見で地域を再生」と題し、「凝り固まった日本の製品・企業、さらには地元産品など、発想の転換や工夫次第で、身近な所に宝となる素材があり、それを見つければ地域は再生できる。」との講演をいただきました。



講演する月尾嘉男氏

私も一言

運営する人が大事



国見町藤田 築瀬 貞子

何年かぶりで議会傍聴してきました。

議会だよりで、ある程度は町の動きなど理解はできますが、やはりじかに見聞するのはひと味違いました。議員定数が減ったため、議員席も少々淋しい感じでした。傍聴席も十指に満たず淋しい限りでした。

何件かの提出議案のうち、私の気になっていた事の一つは小学校の統廃合。これは24年度より藤田小一校にまとまるとのこと、ひと安心しました。全町民の大関心事です。組合立で何かとややこしかった大枝小学校も、ぜひこの機会に藤田小学校へと願っております。(私の母校でもありますので。)

もう一つは道の駅です。総事業費8億4,500万円。補助金を差し引いても4億円が町の負担だそうです。造りかけの工事さえ中止という時に、果たして金は本当にあるのか。また、年間通して店の品揃えは大丈夫なのか。年間200万人立ち寄り試算とか。本当にそんなに人が来るのかと、不安材料ばかりです。

何をしても立場の違いや損益で、賛成反対があるのは当然です。町の活性化は、これからの人たちが、若い人たちに期待するほかりません。夢やアイデア、いっぱいあると思います。

道の駅ができ、地域が活性化し良くなるのは、「運営する人が大事な要素」と町長は述べておられました。同感です。店だけでなく、町も県も国も「運営する人」しだいだと思います。

続いて、「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題し、政治評論家の有馬晴海氏から政権交代の舞台裏について、豊富な人脈と現場での取材を通しての話がありました。

佐藤議長に全国議長会表彰

平成21年11月11日開催された全国町村議会議長会創立60周年記念第53回町村議会議長全国大会記念式典において、佐藤忠美議長が町議会議員として30年以上の永年在職功労者の特別表彰を受賞されました。



12月定例会の席上、村上晴夫副議長より表彰状が伝達されました。

みなさんの からの陳情 請願

今定例会では、9月定例会で継続審査となっていた請願1件について審査し、採択となりました。

請願

採択となりました

●2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める請願書

提出者・福島県教職員組合中央執行委員長 浦井信義

福島県教職員組合伊達支部 支部長 菊池哲則

紹介議員・浅野富男

意見書

- 2010年度の教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書